

トークセッション 登壇者プロフィール

川俣 正（かわまた ただし）

1953 年生まれ。美術家。東京藝術大学美術学部先端芸術表現科教授を経て、現在、パリ国立高等芸術学院教授。建築や都市計画、歴史学、社会学、日常のコミュニケーション、あるいは医療にまで及ぶ広い領域に関わった作品制作を行っている。

東京文化発信プロジェクトでは、東京アートポイント計画事業「川俣正・東京インプログレスー隅田川からの眺め」の総合ディレクターとして、世界的なメトロポリス・東京を、ワークショップ、トーク、共同制作などの活動を通して再考するプロジェクトを展開。これまでに「汐入タワー」（都立汐入公園）、佃テラス（中央区立石川島公園）を制作してきた。

平成 24 年度は、江東区の都立春海橋公園に新たな木造建造物を制作し、クルージングツアー企画も実施。



©Hervé Véronèse

生駒 芳子（いこま よしこ）

ファッション・ジャーナリスト。東京外国語大学フランス語科卒業。フォトジャーナリストとして旅行雑誌の取材、編集を経験。その後、フリーランスとして、雑誌や新聞でファッション、アートについて執筆/編集。1998年よりヴォーグ・ニッポン、2002年よりエルジャポンで副編集長として活動の後、2004年よりマリ・クレール日本版・編集長に就任。2008年11月独立。ファッション、アート、ライフスタイルを核として、社会貢献、エコロジーから女性の生き方まで、講演会出演、プロジェクト立ち上げ、雑誌や新聞への執筆など幅広く関わる。工芸ルネッサンスWAO総合プロデューサー、クール・ジャパン審議会委員、公益財団法人三宅一生デザイン文化財団理事、NPO「サービスグラント」理事、JFW（東京ファッションウィーク）コミッティ委員等。



■モデレーター

公益財団法人東京都歴史財団エクゼクティブ・アドバイザー

加藤 種男（かとう たねお）

1948年生まれ。1990年アサヒビールが企業文化部を創設した際に入社。以後同社の社会貢献部門の推進役となる。特に、アサヒアートフェスティバル、アサヒビール大山崎山荘美術館の立ち上げなど、企業の芸術文化活動（メセナ）を幅広くリード。2002年より、アサヒビール芸術文化財団事務局長を経て、2012年6月よりアサヒグループ芸術文化財団顧問。あわせて、社団法人企業メセナ協議会研究部会長として、「ニュー・コンパクト」を取り纏めるなど、積極的に文化政策を提言し、現在、同協議会理事（理事長補佐）。企業の立場からNPOの環境整備に取り組み、全国の関係機関とともにアートNPOフォーラム等を立ち上げる。アートNPOリンク理事、芸術資源開発機構理事。2004年から、芸術文化創造都市をめざす横浜市の文化政策推進の旗振り役も務めた。埼玉県芸術文化財団評議員、文化経済学会理事等。2008年度芸術選奨文部科学大臣賞（芸術振興部門）受賞。2010年より、公益財団法人東京都歴史文化財団 エクゼクティブ・アドバイザーに就任。



©中村佳代子